

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎庄司田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペース（個室）を確保しています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる職員配置をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			手洗い場に踏み台を用意する等、利用面・安全面にも意識を高めています。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			今以上に充実したいと考えています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			開校日や利用日が分かるようにカレンダーを作成しています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			今年度からブログを活用して公開しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			より充実させて行きたいです。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			事例検討会への参加やミーティング等の機会を確保しています。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			支援終了後振り返りの際に保護者から聞いた事柄を職員全体で共有している。また定期的のアセスメントやモニタリングを実施し、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			統一されたアセスメントシートを使用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			お子さまの事例を検討し、協力して立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			お子さまそれぞれの特性や興味等に合わせ、効果的に楽しく学べる支援を追求しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			完全個別支援のため、SST を通じて集団生活についての支援を行なっています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			職員の空き時間にも申し送りを行ない、月に1回のミーティングを通じて相互理解が出来るようにしています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎回支援に関する記録を取り、お子さまに合わせた支援内容や方法等の検証・改善をしています。
	⑱	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリングやアセスメント、保護者さまとの支援終了後の振り返り等を通じて、柔軟に放課後等デイサービス計画の見直しを行なっています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			「体験シート」に記入して頂き、保護者・利用者に合わせて支援計画を設定しています。また、長期短期目標を設定して具体的な放課後等デイサービス計画を作成しています。
関係機関 や保護者 との 連携 関係機関 や保護者 との 連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が参加しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校との情報共有は更に強化したいと考えています。送迎業務は行なっていません。（保護者さまに、送迎をお願いしています。）
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		医療的ケアが必要なお子さま及び重症心身障害のあるお子様の受け入れは行なっていません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			情報提供出来る体制を整えています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			相互に連携し、外部の研修に参加したり、講師をお招きしたりして研究を行なっています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後の課題として検討しています。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			支援終了後の振り返り等を通じて保護者さまへのフィードバックの時間を設け、家庭での対応方法についてのアドバイスを行なっています。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	
保護者へ	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に丁寧に御説明すると共に、事業所内に重要書類を掲示しています。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			支援終了後の振り返りの時を中心に行なっています。

の 説 明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は行なっていませんが、必要に応じて検討して行きます。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		相談や申し入れ・苦情等を解決に講ずる措置を事業所内に掲示し、頂いた事項に対しては、迅速かつ適切に対応しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		今年度から定期的にブログを更新・発信しています。教室には個別活動内容のプログラムを置き、事務所内には各種イベント等の案内を掲示しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○		書類等は鍵付きキャビネットに保管し、個人情報にアクセス出来る端末はパスワードを設定して、適切に管理対応するように職員に周知しています。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		視覚支援や筆談等の体制を整えています。
非 常 時 等 の 対 応	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	現在は行なっていませんが、必要に応じて検討して行きます。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		保護者さまには、契約時での説明や事務所内での公開を行ない、周知に努めています。 また、月1回の避難訓練を行なっています。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		マニュアルを策定しています。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		保護者さまへは、契約時に「重要事項説明書」を通じて丁寧に説明しています。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		契約時のアセスメントを通じて、服薬やアレルギーの有無についての情報収集を行ない全職員に周知徹底しています。支援時に該当物質との接触が起こらないように留意しています。	
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		報告書を作成・保管し、職員間で共有しています。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎庄司田校 保護者等数（児童数）：14人 回収数：14人 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13人	1人		個別支援なので充分です。 法令を遵守したスペースで確保しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	10人	4人		教員や保育士等が対応しています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6人	8人		更に安全面への意識を高めて行きます。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	14人			定期的にアセスメントやモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画を作成しています。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	10人	3人	1人	お子さまそれぞれの特性や興味等に合わせて、効果的に楽しく学べる支援を追求します。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2人	5人	7人	活動があるのか知りたい。 個別支援なので難しい状況です。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	13人	1人		契約時に丁寧に御説明すると共に、事業所内に重要書類を掲示しています。具体的な支援内容は、放課後等デイサービス計画の提示や面談の際に丁寧に説明して参ります。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	13人	1人		毎回の支援終了後にフィードバックして頂けるので、フィードバックの時間をより充実して行きたい。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12人	2人		支援終了後のフィードバック時等で、助言やアドバイスをこなっています。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1人	4人	9人	個別支援なので難しい状況ですが、必要に応じて検討して参ります。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6人	8人		苦情があるかどうか分からない。 苦情解決に講ずる措置を事業所内に掲示し、頂いた苦情に対しては、迅速かつ適切に対応して参ります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13人	1人		お子さまや保護者さまの状況に応じて、合理的配慮の推進に努めて参ります。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	5人	5人	4人	会報を見たことがない。 教室には個別活動内容のプログラムを置き、事務所内には各種イベント等の案内を掲示しています。定期的にブログを更新・発信して行きます。

	⑭	個人情報に十分注意しているか	12人	2人		書類等は鍵付きキャビネットに保管し、個人情報にアクセス出来る端末はパスワードを設定して、適切に管理対応するように職員に周知しています。
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	10人	3人	1人	各対応マニュアルを策定し、職員に周知しています。保護者さまには、契約時での説明や事務所内での公開を行ない、周知に努めて参ります。
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4人	5人	5人	また、月1回の避難訓練を行なっています。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	11人	3人		お子さまそれぞれの特性や興味等に合わせ、効果的に楽しく学べる支援を追求します。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	11人	3人		頂いたご意見は以下の通りです。 「希望に直ぐに対応してくれる。」 「利用回数を増やしたいが空きがない。」 利用者さまの要望に応えるよう努めて参ります。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。